

## 第4期伊勢崎市地域福祉計画策定業務委託業者選定評価基準

### 1 評価基準

#### (1) 企画提案の内容

- ア 市の策定方針と整合性を有しているか。
- イ 先進的かつ実現性の高い構想の策定を行う提案であるか。
- ウ 今後の実現化方策が具体的に示されているか。
- エ 計画書の構成や表現が明瞭で分かりやすいか（グラフ・写真等が活用されているか等）。
- オ 地域特性及び将来性を踏まえた独自の企画提案があるか。

#### (2) 地域実態の把握

- ア 本市の地域特性及び行政課題を十分理解しているか。
- イ 課題分析力と計画への応用力を有しているか。

#### (3) 市民意見の反映

- ア 幅広く市民ニーズを把握する手法を提案しているか。
- イ 具体的で創意工夫ある市民意見の反映方法を提案しているか。
- ウ 市民意見を集約・調整するコーディネート力に優れているか。
- エ 集約された意見を計画に応用できる能力を有しているか。

#### (4) プレゼンテーション

- ア 提案が具体的で、説得力があるか。
- イ 提案に関する企画・創造力、独創性、アピール度があるか。

#### (5) 業務執行体制

- ア 配置技術者及び執行体制はどうか。
- イ 配置予定者の業務実績、資格及び能力が優れているか。

#### (6) 実績

- 過去5年間の主な業務実績及び類似業務経験があるか。

## 2 選定方法

### (1) 採点評価の方法

評価にあたっては、上記1の評価基準を踏まえて、次表の配点に基づき採点を行う。

評価基準項目	優	良	普通	やや劣	劣
(1) 企画提案の内容	5点	4点	3点	2点	1点
(2) 地域実態の把握	5点	4点	3点	2点	1点
(3) 市民意見の反映	5点	4点	3点	2点	1点
(4) プレゼンテーション	5点	4点	3点	2点	1点
(5) 業務執行体制	5点	4点	3点	2点	1点
(6) 実績	5点	4点	3点	2点	1点

#### 【参考：評価基準項目の採点区分】

##### ○基本的な視点

優：特に優れており、最適である。

良：概ね適している。

普通：他社と同程度である。

やや劣：適しているとは言い難い。

劣：委託先として適さない。

### (2) 評価点数の集計方法

ア 選定委員各人の提案業者別合計点を算出する。

イ 選定委員全員の提案業者別点数を総計し、提案業者の得点とする。

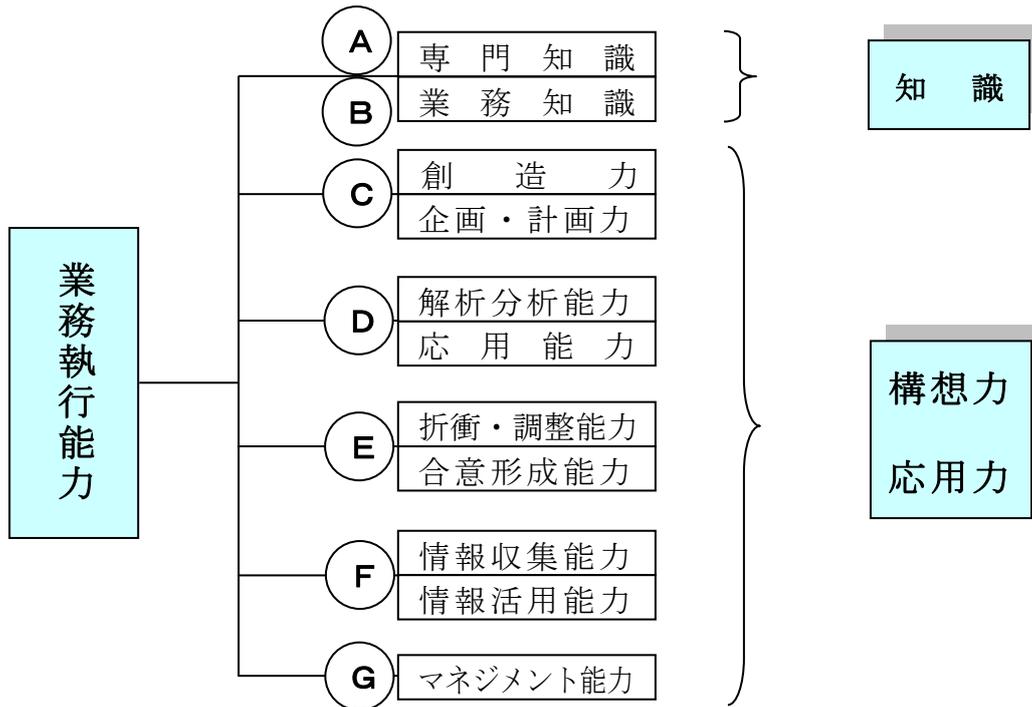
ウ 提案業者の総計得点数値で順位を決定する。

### (3) 業者の決定

各参加業者のプレゼンテーション終了後、全委員による採点審査を経て評価点数の最高得点取得者を委託予定業者として選定する。

また、最上位者が辞退を申し出た場合には、次点の業者を委託予定業者とする。なお、同点の場合には、見積金額が低い業者を決定するものとする。

## 【選定基準】



## 【選定項目（下記の項目について「優：3点、良：2点、可：1点」で選考）

### A 業務担当者の知識及び業務執行能力

豊富な実務経験や専門知識、技術力を有する専従職員を配置し、万全な業務執行体制を構築できる。

### B 類似事例での業務経験

地域特性に理解が深く、資料収集や現地調査を通じて、行政課題を的確に捉え、分析結果を計画に反映できる。

### C 先進的かつ独創的な創造力・企画力

先進的・独創的な行政経営手法や新たな政策を積極的に提案するなど、創造力・企画力に優れている。

### D 長期的視点に立った解析・分析能力及び応用力

将来を見据えた行政経営の指針として、市民ニーズの把握や人口・産業・財政推計などを的確に解析・分析し、さらに計画策定に応用できる。

### E 折衝・調整（コーディネート）能力及び合意形成能力

豊富な市民参加の経験を踏まえ、市民との調整役として素案の合意形成を円滑にコーディネートできる。

### F 情報集約能力

先進事例の情報集約能力を活用して、事務局の要請に機動的に対応し、計画に反映できる。

### G マネジメント能力

策定委員会などを円滑に運営（マネジメント）するためのノウハウやサポート体制が整っている。

## （基本的な資格要件）

- ・本市が規定する入札参加資格に該当している。
- ・県内あるいは関東地区に本社及び支社があり、地域特性を理解している。